

博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野

科目コード：280005

助産実践実習Ⅱ（ハイリスク・継続）

Midwifery Practicum II (High-risk · Continuing nursing)

担当教員	濱 耕子、米田 昌代、亀田 幸枝、曾山 小織				
実務経験					
開講年次	1年次後期・2年次前期	単位数	2	授業形態	実習
必修・選択	選択	時間数	90		
Keywords	ハイリスク妊産婦、ハイリスク児、緊急時の対応、母体搬送、チーム医療、他職種・地域との連携、継続事例、M F I C U、N I C U、G C U				
学習目的・目標					

授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
	<p><u>ハイリスク妊産婦実習</u></p> <ul style="list-style-type: none">*ハイリスク妊産婦(例：切迫流早産や妊娠高血圧症候群等)のケアを実施する。*緊急時の場面で（例：母体搬送、救急蘇生や救急時（異常出血、新生児の蘇生等）医療チームの一員として行動する。*異常分娩（例：帝王切開、吸引分娩、鉗子分娩、多胎・骨盤位分娩）におけるケアを実施する。*異常新生児の出産等の場面で、とるべき行動を考えて実習する。 <p><u>NICU・GCU実習</u></p> <ul style="list-style-type: none">*対象児の身体的状態と治療状況について捉え、ハイリスク児とその家族へのケアを実施する。 <p><u>ハイリスク継続実習</u></p> <ul style="list-style-type: none">*ハイリスク妊婦を継続事例として1例受け持ち、妊婦健康診査を実施する。*継続事例のチームカンファレンスにチームの一員として参加して、学生主導となりカンファレンスを進行する。*継続事例の入院時・分娩時のケアを実施する。*継続事例の産後のケアを実施する。*詳細は実習要項参照	実習	濱 米田 亀田 曾山
教科書	各種講義で使用したテキスト		
参考図書等	随時紹介する		
評価指標	実習評価表に準ず		
関連科目	助産学概論、助産診断・技術特論演習Ⅰ（妊娠期）、助産診断・技術特論演習Ⅱ（分娩期）、助産診断・技術特論演習Ⅲ（産褥期・新生児期・乳幼児期）、助産診断・技術特論演習Ⅳ（ハイリスク）、地域母子保健特論		
教員から学生へのメッセージ	ハイリスクな対象への助産ケア提供場面を見学するとともに、受け持ち事例を通して学習します。		